

I. 学費に関すること

資料1 学費に関する資料

○主な公立大学の初年次の学費

【大学名(学科)】	入学金(円)	授業料(円)	合計(円)
大阪府立大学(府内)	282,000	535,800	817,800
大阪府立大学(府外)	382,000	535,800	917,800
首都大学東京(都内)	141,000	520,800	661,800
首都大学東京(都外)	282,000	520,800	802,800
京都府立大学(府内)	169,200	535,800	705,000
京都府立大学(府外)	282,000	535,800	817,800
大阪市立大学(市内)	222,000	535,800	757,800
大阪市立大学(市外)	342,000	535,800	877,800
兵庫県立大学(県内)	282,000	535,800	817,800
兵庫県立大学(県外)	423,000	535,800	958,800
文科省の定める標準額	282,000	535,800	817,800

※このデータは、平成23年12月に各大学がホームページにて公開しているものである。

表中の本学(獣医学科を除く)を含めた5大学は、平成23年12月現在、設備充実負担金などは導入していない。

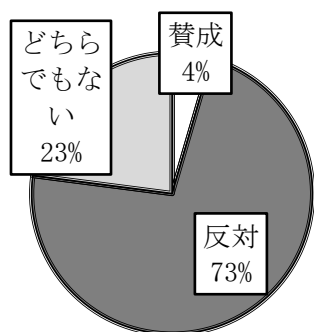
現在、文部科学省によって定められている国公立大学の授業料標準額は53万5800円で、各公立大学法人はこの標準額を踏まえつつ各々一定の範囲内で授業料を定めることができる。設備充実負担金などは、各公立大学法人が自由に定めることができる。本学は、府内在住の学生のみ、入学金、授業料ともに文部科学省の定める標準額と同額に設定している。

文部科学省の調査によると、標準額以下の金額に定めている公立大学も存在し全体の約6.4%である。また、標準額より高く定めている公立大学も存在するが、全体の約2.6%に過ぎない。

文部科学省ホームページ「平成21年度国立大学の授業料、入学科及び検定料の調査結果について」より

○学費の増額についてのアンケート結果その1

内容：学費の増額に対して、教育設備負担金の導入を仮定した上で回答。
回答形式：「賛成・反対・どちらでもない」の3択より選択。自由記述あり。

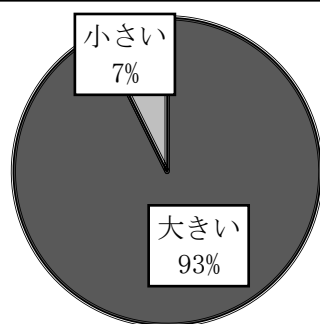


アンケート総数	661
有効回答数	574
大きい	532
小さい	42

回答数における賛成は4%で、反対の割合は73%であった。
「反対」が多数派であり、その主な理由は「経済的に余裕がない」であった。

○学費の増額についてのアンケート結果その2

内容：学費の増額が家庭へ与える影響の大きさを回答。
回答形式：「大きい・小さい」の2択より選択。



アンケート総数	661
有効回答数	574
大きい	532
小さい	42

学費の増額は多少なり家計に影響するものであるが、今回のアンケート結果から、その影響は大多数の学生にとって大きなものであることがわかった。

○学費の増額に関する賛成意見

もっと設備を増やして、学生の数が増えたら良いと思う。
研究費の充実結局日本経済への投資になり、生活を豊かにする可能性がある。
ゆえに正しく使われるなら良いことである。
教育設備を増やしてほしい
工学部のボロ校舎を新しくしてくれる場合に限り賛成
この時勢だし仕方ないと思う。
大学院に進学するつもりだし、設備がよくなるなら、問題ない。
人あたり何十万円も増額するのは納得できないが、5万円くらいなら我慢できる
少なければ少ない方がいい
研究がstopするのは、大学としては致命的です。単純に学費が上がるのは嫌だという、後先も考えられない阿呆の意見はどうしようもないほど救いがないです。大学は理科系を押す大学としていくのは来年の改編からも分かる通りだ。だったら、困っているのだからお助けくらいしないといけないのでは。

学費を増額しないことによって、研究設備が劣化してしまうのは、大学の質を低下させてしまうので良くない。府からの交付金は削減されているので、その分は、学費の増額として補填するしかないと思う。
施設の充実や優秀な講師を雇う資金にしてほしい
設備が充実するのであれば多少の増額であれば仕方のないことだと思う。ただ、増額するのであれば無駄な支出を徹底的になくしてほしい。
研究は大事
「賛成」と言いつつ内心では反対。
しかし、府からの補助金が減少しているなら、止むを得ない気もする。経済的に厳しい家庭は奨学金で頑張って下さい。
学域を大きくするなら負担金増額は当然
ただし大学にはどの研究設備にどれほどの金額を使うのか示して欲しい。

○学費の増額に対する中立意見

増額の幅や奨学金・授業料減免制度など、他の制度にもよる。安易に学生の負担を増加させるのはあってはならないと思うが、それに見合った魅力の大学を本気で作りたいなら、交付金が減っている現状、財源のひとつとして検討せざるを得ないと思う。その場合は、授業料減免制度を改善するなど、家計が苦しい学生の教育を保証できるようにするべきではある。個人的には、研究者の負担を減すようにお金を使ってほしい。会議や教育があって、資金獲得を求められて、トップレベルの研究をする、なんて不可能に近いだろう。その質の低下はイコール大学としての質の低下だと思う。「勉強」する環境は最悪、やる気になったらできる、程度で仕方ないけど、「研究」する環境だけは整えるべき。

今はまだ何とも言えない。

反：研究設備の充実が全学生に帰するものではなく、特に文系で院に行く予定のない人は不満がある。

賛：府からの交付金が減る中で、大学側の資金確保の意図は当然だと思うので、きっちり説明した上でやればいいのではサービスが向上する又は、低下させないためならば、出来るだけ最小限の変化ならいいと思う。

理由：自学科に関係のない設備に関するお金は払いたくない。

意見：学科ごとにわけて請求してほしい。

学費が増額するとは知らなかった

しっかりとした増額の目的、それにともなう学生の負担との兼ね合いをしっかりと学生、保護者に説明し、もし打ち出した目的を達成できなかった時の対処をしっかりと明確にしてから増額などの話をすべき。

負担金を支払うことになる人がはたして設備をどれだけ使うかにもよると思う。（ただし、どうしても負担金がないと研究がやっていけないならば払うのは賛成。

増額した分、無駄なく設備の向上に使用してくれるなら問題ない

本当に必要ならば出さなければならないし、単純に反対なのもお門違い。経済が低迷というだけではないのも実情。（現にGDPは悪くはない）

まあ、正直あんまり大学に勉強する気のないものがいうべきではない。

学生としては「学ぶ」ことができる機会が増えてうれしいが親としては正直大変だと思う。

研究設備が充実するのは良いが、家の経済状況が・・・

常識の範囲内での増減は当然にあるものだと思う。

運営を行ってる側ではなく、内情的な事情もあると思うし。

研究に困るようであれば、仕方ないが、もっと努力できるならば上げない方が良い

家庭からすればこれ以上の負担には無理があるけれど、国や自治体からすれば教育にまわせる金が減っているのだらうとも思う。どちらがよいとはいえないけど、どちらかを重視して日本の経済が生活化するののかも微妙なところかと。

増額は嫌だが、設備投資は嬉しい

増額したときには、それ相応の授業料減免、猶予枠の拡大が充実していないといけないと思う。

具体的にどんな設備が導入されるか等開示があり納得できれば増額でよい。

仕方のないことだと思う

どれくらい増額がされるのか

それに見合うものを学生が得られるのかといった具体的な変化といった基本的な情報が無い限り判断できない

今、負担金が導入されてもすぐに研究設備が充実するわけではない。自分の研究室は大して設備に苦勞していないのでこのままでも大丈夫な気がする。建物をきれいに改築してくれる（航空っぽく）のであれば賛成してもいいかなあ。

増やしてもすぐに自分たちに影響すると思えない、が、今後航空等が何かの改善があるのなら考えるかもしれないです

国際的に高いとはいえない。

専門的研究を重視する（理系は特に）にあたって、学費の増加はしかたがない。

しかし、お金ないから学部減らせつつあったんだから増額はおかしい。どちらにしても関係ないのでどーでもいいー。

設備が充実することは嬉しいことだが、学費が増えるのは家計にとっては苦しい。大学はそれ以外のお金もいるので（交通費、教材費など）、これ以上上げてほしくはない。しかし、他大学に比べて、設備が完全かといわれるとそうでない気もするので、増額には反対ともいえない。

学費が増える分に見合った環境が整うならそれでいいのできちんと増額が設備投資などに反映されれば、問題ないと思う。

研究設備の充実が文系にも関係あるんでしょうか…… ないなら反対です

理系の方に増額して研究設備を増やすのではないかなと思うから。文系学部は関係ない気もする

自分と直接関係のない費用、また必要性を感じられない費用は負担したくない

大阪府立大学そのものの存在意義に疑問を感じるから。

設備は充実させたいので、多少は仕方ないと思うが、家計は厳しい。府からの大学への交付金は削減すべきではない。絶対に。府がお金のないことも解るし、かといって、家計に学費の負担が大きくなるのも問題はあるし、難しいところですね。

メリットデメリットはどっちにも共通するから

学費を増やさなくてはならない理由が納得いくものなら、仕方ない部分がありますがそうでないなら、保護者の負担増は避けてほしいです

負担額の増加が生かされた内容が明確にされれば、よいと思いますが、よくわからないまま増額されると、納得いきません。

研究設備の充実は、特に理系学生にとってはありがたいことですし、学費も今までのように国立大学と同額であれば、私立大学に比べて家計を圧迫するということもないと思われます。しかし、府から大学への交付金の減額に関しては、授業料が高くなるからというよりは、講義の質の低下ひいては大学という学習の場、機会の喪失につながるのではないかという不安から、非常に心配しています。

積極的に賛成はしませんが、研究もとい学生のためなら仕方ないです。

どの程度学費が増加するかわからないから
設備がどれほど充実するのかわからないから

確かに、研究設備などが充実したらありがたいが、今期から研究室配属されて研究室の設備を見たが、今の設備で十分だと思いました。また、設備が新しくなることで今までの器具では時間がかかっていたが、その時間が短縮されると思うが、今まで以上にその器具の原理などが分からなくなり、そっちのほうに個人的には気になる。

増額したいという大学の意図も理解できるが、公立大が学費の増額をするのは開かれていないように見える

現在直面している日本の危機に対して増税が検討され、家計が更に苦しめられる状態で学費を上げるはきつい。しかし勉強をそもそも熱心に行っている人はその学費をなしにすることができしわからない

両方いい面もあると思う。ので、自治会が少し強引にでも決定して進めていくと、生徒は自然とついてくと思う

短期的なものであれば問題ないと思う。

○学費の増額に対する反対意見

公立大学なのだから府から教育のための金銭的な支援があるべきだと思います。また、府もこれから日本や大阪府を支えていく学生を育てるという意識があるのならば設備のための支金を学生から集めるのではなく府から出すという発想になるのではないかと思います。

研究設備をつかわない学部生もいるので全員の学費があがるのは不公平だと思う。

家計が苦しくなるから大学に通えなくなります

学費が増やすと、アルバイトも増えなきゃ、学習につかう時間もへるし。

自分は自宅生で何とかであるが学費を賄ってもらっているものでその方面には少し疎い。

むしろ下宿生の意見を反映すべきである。

研究設備はよい条件である方がいいけど、あまり授業が上がるに困る。人によっては学費の増額が厳しいと思われる。

あまり関心がない

もちろん安く済むなら、それに越したことはありませんが、授業を受ける上で必要なお金であれば、増額されても支払います。

学部生である自分には設備はどうでもいい。

しかし、府大に入学したら、ほとんどの人は研究室に入るし、少しぐらいの増額はいいと思う。

しかしあまりに多いと学生やその家族への影響が大きいのでよくないと思う。

研究活動のさらなる発展につながるのであれば反対理由はない。

学費をあげることで、どのような設備がよくなったりするのか具体的にわからないし、上がる額がはっきりしない以上判断は難しい。

増額が学生にとって具体的な利益がるといえるようならば、増額もやむなしだと思う。

自分の在学中は止めてほしい

研究設備の充実には賛成だが、すぐに増額するのではなく他の部分で大学における収入の増加をこころみてほしい。

増額の幅が小さいならよいが、あまりにも増額するのは反対
複数年の留年が確定しているので、大学の設備充実賛成だが家庭の事情により、休学して学費を得ねばならない

研究設備の向上が私たち学生のメリットになるのかどうか分からないため、反対も賛成ができない

国立大学の特徴として学費が私学にくらべて安いことがあげられるので、増額レベルにもよるが反対である。

国公立は学費が安いのが魅力なのに増やしたらダメだと思う。
経済的に苦しくなるかもしれないので

既存の研究設備で十分

経済学部は研究設備関係ないですから。公立大学に来たメリットがなくなるから。

私は未認可校とのダブルスクールをしていますので困ります。学費増えるならみんな設備のいい私大に行きます。

高いのでいいです。

経済的に、厳しくなるため。

教育設備が充実するのは大変うれしいことですが、授業料が国立大学と同じというもとで、安心して入学できた部分もあります。なので、できるだけ学生への負担を増やさないでほしいです。

他の国の国立大学と比べても日本の国立大学の学費は極めて高いし、自分以外に兄弟も中高大に通っている場合、学費の増額は打撃が大きすぎる。

家計が今の授業料でも苦しいのにこれ以上増やさないでほしい。

奨学金をもらっている学生にさらなる負担が生じる気がするから。

そこだけでも国立と同じにしてほしい。

経済棟が新しくなるならともかく、今の施設で満足しているから

どうせ理系ばかり充実させるのだろうし…と考えてしまう。今のままで十分。

家にお金が無いから、地元の国公立を選んだのに、これ以上学費が上がったらしんどい。

通えなくなってしまうです。

ただでさえ高い授業料を払っているのに、これ以上お金を負担させられたら困る。

文系にメリットがない

教育設備の充実とかそういうのいいです。

どの学部 of 何の設備が充実するのかがよくわからないから。学費を上げられても自分の学部に変化がなければ意味がない。

経済学部所属なので、研究設備が充実してもまったく恩恵を受けないから。

各学部間で使われる金額に差が出ることが明白であるので、一律の学費の増額は賛成できない。工学部や獣医学科では設備などに多額の金銭を書けることが予想されるが、経済学部や人間社会学部ではそのようなことが考えにくいから。

学費はそのままの方がいいです。

文系だから、研究設備の充実も何も関係ない。そんなんのために出したくない

ウチはすごく家計が厳しいです。1つ下の弟が私大に行っていて、年の離れた弟がもうすぐ高校です。なので、私だけでも授業料が低くないと、回らない。

現在の学費でさえ奨学金による援助でなんとかやっている状況なので、

これ以上上げられたら将来に大きな不安ができる。

増額とか かんべんしてください。

生活費にかなり影響するから。

中学校みたいに学期ごとに学費を納費できるようにしてほしい

増額せず税金から設備を充実させてほしい

今の研究設備で足りています。

また、増額された金額がちゃんと研究設備に使用されるか不安。

理由：親にかかる負担を増やしたくない

要望：変えなければいい

お金使いたくないから。

増額するなら、金持ちの学長とか偉い人に払わせろ

増額にしたところで学生にその恩恵が受けられる可能性は低いから。

お金ないです。交付金増やしてもらいたいです。

大阪在住ではなかったので入学の際、10万近く多く払っている。その上さらに増額となると厳しい。

ビンボーな人もいるから。

大学の費用が厳しいことには理解できるが、家計も厳しい。又、教育設備負担金は何に使用されるのか知りたい。負担金の増額でどの研究設備がどれぐらい良くなるのでしょうか。

今の学費ですらかなり苦しい。上げてほしくない。

家計がすでにギリギリの人もいるから。

学費の増額分のお金の使い方がよくわかっていないから

経済的理由により支払いが厳しいのでむしろ減額して欲しい
これ以上あげられたら、困る人はたくさんいると思います。

家計への負担が大きくなるから。

増額しても府から大学への交付金は同じであるべきだと思う。

学費が大きく家計を圧迫するから

そもそも、学費が安いことも公立に通う理由の一つ。むしろ、減額して欲しい。また、企業から寄付してもらうのも良いと思う。大阪府は全国統一テストで悪い成績であり改善しなければならぬのに大学への交付金を削減しているようなのでは教育レベルは下がる一方だと思う。

今以上の学費を払うことのできる家計ならば、公立大学である府大には入学していない。きっと、私立の大学に通っています。公立大学であることの利点（学生にとっての）をしっかりと考慮してください。

道路の整備をしていたが、別に必要があったとは思えない。そのお金を回せばよかったのではと思う。

友達の話とかを聞いてると、今でも結構お金払うのがギリギリの人がいる。

学費が上がったらその人たちが困ることになるから、もう少し他の方法とか模索してほしい

学費あげるんだったら道路工事とかしなければよかったのに…

そんな金がない

バイトを増やさないといけなくなって勉強する時間が減るからやめてほしい。

職員を減らす等、別の財源で設備は充実できる。大学のシステムが無駄が多い。

増額したいなら、具体的なビジョンを示してほしい。

お金のことは切実な問題なので・・・

アルバイトをしなければ、学費をまかなえなくなる

設備の充実とは、一体何に使われるのか。どの学部、どの学科にいくらずつ予算増額になるのか。それを明示しない限り、必要とは思わない。

増額したところで設備の充実を時間出来ない。改善すべきムダがたくさんあると思う。特に節電が叫ばれているこのご時世にクーラーを寒いくらいにつけているのには閉口した。

具体的数値がまだ分からないので、賛成はしかねる。学費がふえないことにこしたことはないので、現状では反対。

私のように家庭の事情で授業料を自分で払わなければならないの人にとって多少の増額が経済状況にかなり影響を与えるから。-----

研究設備が今十分でないのかそれとも異な以上にじゅうぶんにするのかどちらなんですか？他のムダをなくしてそれにあってられませんか？そもそも増額といっても具体的な数字が出ていないのに賛成できるわけがない。こちらとしては国公立はどこも同額でやるという条件だからこの学校に入っているのに「補助金が削減されているから」は理由にならない。

府立大学なんだから府がお金を負担すべき。

無駄をなくしても増額しなければならないのですか？そうとはとても思えません。増額されると本当に困ります。

私学に行く金がないから公立来てるんです。増やされると大変困ります。

ただでさえ家計への負担が大きいのに増額となったらけっこう厳しいものがあります。今まで通りにやっても問題が生じるところがあるなら仕方ないかもしれないけど、理由も分からずただ教育設備負担金とだけ言われて、何のために使うか先にはつきいえないさせてほしい。無駄に建物が新しく建てかえられるのは納得いかない。

家計がくるしいです。助けてください！

反対ではあるが、仕方ないとは思います。ですが、必要な設備を厳選してほしい

研究設備が充実しても、全員が使えるわけではない。また、学費を自分で働いていて払っている人もいるので、これ以上の負担が増えると研究に支障をきたすと考えられる。

同水準を維持してほしいです。

府の財政が厳しい状況にあるのは知っていますが、そのしわ寄せを教育費の増額という形で解決しようとするのは間違っている。公立の高校を無料にして地元の教育を充実しようとしているにもかかわらず、府大の学費を上げるのは矛盾しているのでは？長期的なビジョンがないですね。

他県から来た人と大阪府の人で学費が違うのに、増やされるのは納得がいかない

今の学費でも負担が大きいのに、さらに増えるのは困る。

せっかく公立なのに、値段が高くなったらダメですう！

学費は家計に大きな影響を与えるから。できるだけ家計の負担を減らしたい。

利用者負担を増すより、外部資金の獲得や寄付金(※大阪府立大学基金)を増やして大学財政収入規模の維持を行っていくべき。学費増額はあくまで最終手段。

仮に新たな収入源として教育設備負担金を導入するのであれば、大学には果たすべき説明責任を果たしてもらわないと…。こういう問題を、すなわち大学の財政について、学生・大学執行部・教職員で考えるシンポジウムがあればいいと思う。現状の学生の大学財政に対する不信を考えると、大学執行部は学内全体に向けて大学財政について一度公開形式で説明をしてみ必要があるかもしれない。

大阪府の議員の数を減らして研究費に回せばいいのでは？

年間¥53,5800円は学生が自分で稼ぎながら生活するのに困難である。そのため奨学金が得られる学力をとれるほどの勉強ができない。増額は、そのような人間の学習を妨げる。

大学の研究の成果というのは日本の国家全体の利益になるものであり、そのための費用負担を学生・その家族にだけ押し付けるのはおかしい。

経費削減とかかんげているのかはわからないが、そういうことをまずすべき。自分で学費を払っているので引き上げられると学校に来れなくなるかもしれないのでやめていただきたい。

府からの交付金が減っているからという理由だけで、学費を引き上げられるのはナンセンスとしか思えない。何か無駄があるかを探すべきで打つ手がないなら仕方がないとは思いますが今の段階でやる意味はわからないし、学費に見合うだけの教育を受けられているかといわれれば疑問がわいてくるので反対です。

研究設備の充実することよりも学費の増額の方が重たいため授業料増額が事前に告知されているならともかくとして、入学後に学費をあげるのは、生活費の圧迫をさけられない。

家計に大きな負担となる

母子家庭にはキツイ。

なので増額するならそこら辺を考えてほしい

お金が無くて、国公立に来ているのに、学費が増えるなら国公立に来た意味が無くなります。

学費を増やすならば、何にいくら使っているのかが明確にわかる生徒に配布し具体的何にいくら使うべきお金がいくら足りないのかをしっかりと示してほしい

家庭における学費の負担が多くて、兄2人も大学生なので、3人分の学費がかかりかなり大変です

学費を安易に増やす前に、大学の費用の無駄使いを無くし、その無駄をなくしても学費を増額しなければならない理由をわれわれ学生に提示すべきである。

これ以上増額したら、オカンが音を上げるから

大学の運営にはまだ無駄があり、おそらくまだ増額しなくても良いと思います。

単純に家計への負担が増える。

いずれ役に立つ投資だとしても、今でカツカツなのにこれ以上府あやされて学校に来れない人もいるやもしれないから。

お金が無いから

純粹に、負担額が増えるのは辛い。教育設備が充実した所で、僕がその恩恵を受けられる期間が短い。

教育は未来への投資です。

「公立の大学に来た理由＝安い」だから。

奨学金をもらっている上に、授業料の減免を申請している身であるので、これ以上増えたら困る。

自分の学科の設備がよくなるとは限らない。どうせ外見を良くするためだけに使いそう。

・今でさえも学費が自分たちのどこに使われているかわからない。

・航空宇宙工学科にお金は使われているのか

経済的に現在よりも多く学費を支出することは不可能なので、現在の学費の額を維持してほしい。府に対して、大学への交付金を削減しないように積極的に働きかけてほしい。

経済的にゆとりがないため。

家計を圧迫する為、又、所属する分野の設備が増額によって充実しないように感じる。

学費が家計に与える影響は大きいと感じています。学費の関係で下宿したくても下宿できない状況があると思います。

学費が増額されると、生活にも影響があるので困る。

これ以上経済的な負担はおえない。

大阪府外にとっては大変遺憾に思います。（交通費などもかかります）

兄弟がいるので家庭的にも社会的にも経済が圧迫されているのでこれ以上負担が増えるととても困ります。

ひどい言い方とは思いますが、文系の私からしたら、実験・研究などは何をしているのか分からないため、ただ増額されても困る。

研究設備は主に理系の学部にとって必要な物だと思うから。

大学に入ってから学費を自分が負担しなければならない状況です。学費が増額されたら、今より厳しくなりそうです。

奨学金を2つ受けながら大学に通っている私としては、増額は厳しいものとなります。母子家庭、父子家庭の数は少なくないはずです。経済事情を考えていただきたいと思います

家計が苦しい。工学部と違って研究施設などあまり関係がない。

学費は家計に大きく関わるし、研究をする人にとってはいいかもしれないけれど、研究設備が充実してもそれを必要としない人には負担になるから。

研究設備使わないから。

理系編重で文系はそこまで変わらないだろうから

家計が厳しくなるからやめてほしい。

教育設備の何を↑させるのか分からない。

↑させたとしても全員がつかえるものか分からない。

学生にとっては実質的な学費の増額に相当します。

府大の文系学生に研究設備の充実は特に必要ない

家庭の都合的に負担が増えるのは辛いから。

学費はかなりの金額だし、奨学金を利用させてもらっているものでこれ以上は負担になってしまうので増額には反対です。

増額するのは設備が増幅する学部の学生だけで十分ではないか

うちは今の授業料で生活がかつつなので、私学みたいにこれ以上増額されたら破綻してしまうおそれがあるので、できれば増額は避けてほしいです

文系の学部どんな設備が充実するかわからないから。理系の人の分まで、払う必要性を感じない。

既に奨学金とアルバイトでなんとか学費を払っている状態で、家計も厳しい。これ以上増額されると何のために公立の大学に来たのか分からなくなる。

ただでさえ、施設利用で年間に20万円を余分にはらっている。(実習で大学棟の施設に行く交通費ももらえなかった)←2日間で5000円以上だよ！

しかし、学生が生活面で利用できる施設(図書館や冷水機や食堂など)はなかもずキャンパスよりしょぼい。なので多くお金をはらっていても質の低いサービスしか受けていない。

教育設備の充実についての費用は本来府が負担すべきもので、学費の増額につなげるべきでないから

現在の設備でも十分ではないかと思う。

自分で大学費を払っているから

学校側の都合でキャンパスを新設し、学生にストレスを与えているのに、さらにその上に金銭的負担を強いるのは、おかしいのではないか。

授業料を自分で払ってる人にとっては死活問題であり、奨学金を取ってても、獣医の18万5000円の負担は大きく、また6年間なので、将来の負担を考えると、奨学金を増やすこともできないため増額は反対です。

国公立に来た意味がない。私立の学費を払えないから公立に来た。

獣医学科も他学科と同じ学費にすればいいと思う。

学部によって設備充実のために必要な金額は異なるはずである。一律で同額にするのは不公平ではないか。

お金がなくて今も奨学金に頼っています。今、学費が増額すると、勉強が続けられなくなります

学費に安さが大学を選ぶ理由の1つになるのに、増額されてはならないと考えるから

この不況時期に学費増額はすべきでない。理系にとって研究設備が充実することは利点であるが、文系にとっては都合がよくない。不平等だと批判される可能性がある。

不況なめんな、増やしても学生一人あたりがうける恩恵は少ない

バイトによって教科書代をまかなっている現状なので授業料が今以上増えるとバイトの時間が増えて勉強できません
これ以上増えたらムリ。勉強に金がかかるとか何時代やねん
家の経済的に厳しい為。

私の家は母子家庭で、ただでさえも苦しい状況の中、今年に入り母が交通事故に遭い後遺症を負ってしまいました。学費は私が自分で払うことになり、現在奨学金とバイトで頑張っていますが、獣医学科は約 20 万円の負担金も含めて支払わなければならない、稼ぎが全然足りません。前期・後期共に減免申請を出しましたが前期は受けられず、後期は返答待ちです。今でもしんどいのに、これ以上学費を増額されるとやっていけません。もし増額するにしても、一律に授業料を上げるのではなく、家計の苦しい家庭にはせめて現在の学費のままにしたり、減免制度をもっと充実させたり、配慮は必要だと思います。

日本の学費は国際的にみても高額であり、これ以上の増額は多くの学生にとって負担となる。

府立大学としても国や府に対して、高等教育への公的支出を増やすよう要望を強く行ってほしい。

そもそも今の金額でも高いと感じている。院まで進むと考えると 6 年間も払うのに今以上の増額は負担が大きすぎる。教科書代も少なくない金額が必要になるためかんべんしてほしい。

そもそも今の時点で金額が高いと思っている上に、これ以上の増額で奨学金を受けるのは厳しい。奨学金を借りてでも簡単に言われても、借金の額が大きくなって喜ぶ人間はいないし、多額の借金を負って社会へ出るのを躊躇い府大へ進学する生徒が減ると思う。

やっぱ、支出が大きくなるのっていやです

改善された研究設備を必ずしも使うとは限らないため

国公立の学生の家庭は金銭的に余裕のある所が決して多くないと思うから

お金がない人がかわいそうです。

今でさえ、家庭の経済状況としては厳しく、奨学金も減免制度も利用し、バイトで生活費をまかなっているの、これ以上増額となると、困ります。

言うまでもなく、家計を圧迫するから。増額されたところで、平等に配当されると思えないから。

今の状態でも、家の財政は厳しいので

このままの状態不満がないため。

学費の負担が家計に影響を与えると思うから。

それに、学費を高くして、財源を確保するのではなく、府がもっといろいろなムダな部分をなくしていったほしい。

学費が増額するのなら、公立大学を選んだ意味がありません。府からの交付金が減っていて、仕方ないとは思いますが、今はやめてほしいです。

せめて、早めから増額を通知しておいて、「それでも府大が良い」と思う人だけが入学できるようにすればよいと思います。

今の研究設備で満足しているため

学費が安いのに国公立大学に入学したのに意味がなくなる。

不景気で家計が苦しいので学費の増額だけは絶対に避けて欲しい

確かに学費が上がれば大学の研究が充実するのは分かるが、現実的に、家計が苦しく、これ以上出せと言われても厳しい。

日本経済の低迷は日本政府が可決すべきであり、国民が解決することではない。

大学と学生と授業料の関係は国と国民と税金のそれに似ている。増税の先に大学が無駄を省くとかやるべきことはあるはず。

大学の運営を根本から見直すことによって、本当に学費を増額する必要があるのか分かる。必ず無駄があるから。

学費を増額させるという方法以外の対策をしていただきたい。

家族の収入が少ないから

研究が充実するのは嬉しいが、学費は増えてほしくない。学費を増やさなくても、B7 をなくしたりするお金があるならそちらのお金を研究設備にまわしてほしい。

負担が増えてもサービスがよくならない

低くても充実させることはできると思う。

増額したところで学校生活がさらに性活になるかあやしいから

これ以上増えたら、バイトを増やさないといけない。そしたら、勉強時間とか削られてしんどい

使用金額が大きいの研究設備だが主に使うのは 4 回以上。3 回以下に対する還元割合が近い

受験料が府大だけ高いとか所々でお金がかさむのに、増税されたら困る。

家計が苦しいのでやめてほしい。

府大ムダ多し。

中の道をキレイにしすぎ。

もっと金分散させろ！

この不景気にこれ以上の学費を払うのは正直厳しいです。

国立同様の学費の安さのためにココを選んだ人も多いはず。金額にもよりますが研究設備はじゅうじつしてほしいですけど、急に増やされるのも困ります。

出費を抑えたい。今の現状で十分に満足している。

研究設備の費用は、文系よりも理系の方がかかると思うので、文系の子にとって負担です。

教育設備負担金の導入はいいことだが、学費の増額よりも学内のムダなお金を減らすべきだと思う。

授業を受けている者として、あまり勉学に精進できる環境ではありません。この状況の中、さらに学費が上がるのは納得できない。

学部によって使う金額も違うだろうし、学部によって分けて、増額するところはしたらいのでは…

負担がふえたら困ります

増額はやむを得ないが、1 年を通して成績が優秀な生徒は、次の年は授業料を免除するなどの措置をしてほしい

安いから来たのに、増やされたら来た意味がない

研究施設が充実することは、院生として大変喜ばしいことです。しかし、その恩恵を一番享受するのは教授・準教などの教員だと考えます。

研究施設が充実することでこれまでは不可能だった測定や試料の作製が可能となり、今以上の研究を行えるようになると考えられます。しかし、学生が得られるのは経験であり、金銭に直接繋がる評価を得るのは教員です。そのため、教育設備負担金実施の議論を行う際には、真っ先に教員の負担を議論すべきと考えます。

これ以上、家計を苦しめないでください。

ただでさえ高額な学費が増額となったら、家計が苦しくなる。増額した分の学費の具体的な使い道が、正確に示されていないから。(どこにどれくらいのお金を使うのか)

授業料が高くなると、公立大学としての存在意義がなくなる気がする。

あと、来年の大学入試の受験料が3万円になっていました、私が受験した時は1万7000円だったと思います。同じ公立大学の兵庫県立大学は1万7000円なのにどうして3万円なのでしょう。勉強不足だったら申し訳ないのですが、何か説明があると助かります。

増額の可能性があるのかどうかは知らないが、増額されると確実に家計に影響が出るので反対。交付金については、国からの交付金(本当に存在するとして)の分まで削るのなら大学は大いに反発すべきだと考える。

言語文化学科では、研究設備はそんなに使わない。学部・学科に関係なく、学費を上げるというなら、学生全員に相応のメリットがあるような使い方をすべき。しかし、理系の学部が使うような設備のためのお金、というような話なので、今のところは反対。

人社に関係ないことでの増額は嫌だ。

弟妹がそろって進学するので、学費は増えない方が良い。

国公立大学の授業料が増額されると、大学に通うことが困難になる家庭が増えるから。

一応増額すると、今度何度もことあるごとに増額することになるから

どちらでもない、を選択したかった。紙媒体ではあったはず。なので、どちらでもない、で集計お願いします(それをしたならこの文は集計に入れなくていいです)。

増額の幅や奨学金・授業料減免制度など、他の制度にもよる。安易に学生の負担を増加させるのはあってはならないとは思いますが、それに見合った魅力の大学を本気で作りたいなら、交付金が減っている現状、財源のひとつとして検討せざるを得ないと思う。その場合は、授業料減免制度を改善するなど、家計が苦しい学生の教育を保証できるようにするべきではある。個人的には、研究者の負担を減すようにお金を使ってほしい。会議や教育があって、資金獲得を求められて、トップレベルの研究をする、なんて不可能に近いだろう。その質の低下はイコール大学としての質の低下だと思う。「勉強」する環境は最悪、やる気になったらできる、程度で仕方ないけど、「研究」する環境だけは整えるべき。

教育設備負担金に関する項目や「その他」的な項目を設けないなら、なぜ負担金の話を持ち出したのか。問2・3が学費の増額について、問4が学費の影響、問5・6が現在の制度に関して。負担金(実質的な増額)自体がしんどいかどうか、つてのは、結局、問2・3・4あたりで聞いている。でも、負担金で設備などが充実する。そのうえで、負担金がどうか、つてことを聞いていない(書いてもらう項目がない)から、明らかに不適切な前文だと思うのだが。何を意図したかわからないけど、どう考えても機能してない。あと、「一方～」つて繋がってないし、内容的にこの位置にあるのおかしいよね。とか思ってみたり。

利用者負担を増すより、外部資金の獲得や寄付金(※大阪府立大学基金)を増やして大学財政収入規模の維持を行っていくべき。学費増額はあくまで最終手段。

仮に新たな収入源として教育設備負担金を導入するのであれば、大学には果たすべき説明責任を果たしてもらわないと…。こういう問題を、すなわち大学の財政について、学生・大学執行部・教職員で考えるシンポジウムがあればいいと思う。現状の学生の大学財政に対する不信を考えると、大学執行部は学内全体に向けて大学財政について一度公開形式で説明をしてみ必要があるかもしれない。

1人あたり何十万円も増額するのは納得できないが、5万円くらいなら我慢できる

研究施設が充実することは、院生として大変喜ばしいことです。しかし、その恩恵を一番享受するのは教授・準教などの教員だと考えます。

研究施設が充実することでこれまでは不可能だった測定や試料の作製が可能となり、今以上の研究を行えるようになると考えられます。しかし、学生が得られるのは経験であり、金銭に直接繋がる評価を得るのは教員です。そのため、教育設備負担金実施の議論を行う際には、真っ先に教員の負担を議論すべきと考えます。

資料2 本学の授業料減免制度

○申請結果（学生数）

・成績判定

2008年度	申請者数	合格者	不適合者
	491	282	209
2009年度	申請者数	合格者	不適合者
	463	245	218
2010年度	申請者数	合格者	不適合者
	585	332	253

・所得判定

2008年度	申請者数	免除	減免	却下
	267	150	43	74
2009年度	申請者数	免除	減免	却下
	221	106	38	77
2010年度	申請者数	免除	減免	却下
	332	181	53	98

申請者数が今年度において急増している。また、所得判定において全額免除の判定を受けている学生も急増していることから、本学において経済的に困窮している学生が増加していることがうかがえる。しかし、成績判定により、制度の恩恵を受けることができない学生も存在している。

○本学における授業料減免制度の適用基準

学業優秀と認める者で、次のいずれかに該当する者。

1. 生活保護法第6条第2項に規定する要保護者の子
2. 上記の要保護者に準ずる程度に困窮していると認められる者の子
3. 長期の疾病、生業の不振又は失業のため生計が著しく不良となり、学資の支弁が困難な者の子
4. 天災その他の災害により学資の支弁が困難な者の子
5. 独立して生計を営んでいる学生で、1から4までの「の子」を削ったものに該当する者

本学ホームページより転載

○適用基準の差が出ている実例

例1 応用化学科と航空宇宙工学科

応用化学科（1回生）GPA2.8（成績優秀判定※）⇒授業料減免制度の成績基準を満たさない

航空宇宙工学科（1回生）GPA2.8（成績優秀判定）⇒授業料減免制度の成績基準を満たす

同じ成績優秀判定を大学から受けていながら応用化学科と航空宇宙工学科では成績基準を満たす、満たさないが変わってきている。

例2 応用化学科と経営学科

応用化学科（1回生）GPA2.9（成績優秀判定）⇒授業料減免制度の成績基準を満たさない

経営学科（1回生）GPA2.9（成績優秀判定されていない）⇒授業料減免制度の成績基準を満たす

大学から成績優秀と判定されていても、応用化学科では成績基準を満たさないが、経営学科では成績優秀に認められていなくても授業料減免制度の成績基準を満たす。

※「成績優秀」は本学の履修において、受講申請可能な単位の上限が上昇していること示す。

学生の証言を基に作成

本学の履修規定では「所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前項に規定する単位数の上限を超えて履修科目の受講申請を認めることができる」という一文において、受講申請可能な単位の上限を上げることができる成績を修めた学生は成績優秀であるとしている。しかし、現在の減免制度の場合、成績優秀と認められているにもかかわらず、学部・学科によっては成績判定で不適合とされてしまう。

○減免制度に関する学生の意見

成績選抜でもいけても、経済審査でいけない場合があるのはおかしいと思う。経済審査をなくすか、甘くしてほしい。

成績を判断基準にするのはやめてほしい

基準の緩和

もっと条件を緩めろ

もっと枠を増やしていただきたいです。

成績審査の条件を成績上位 3 割から成績上位 5 割にゆるめてほしい GPA=3 なのに後期授業料減免の成績審査落ちました

学科内の上位 3 分の 1 しか制度を設ける権利がないのは本当に貧しい人の立場からするとかなり厳しい

もう少し基準をゆるくしてほしい。

入学したばかりの時に、下宿を始めたあたり、弟が浪人をはじめることになったり、すぐにお金を用意することは難しかったのに、授業の支払いをおくらせることもできなかった。減免で十分な審査が必要なのは分かるけど、これは本当に困っている家庭には辛いことだった。それはもう少し基準を低くしてくれてもいいんじゃないですか。家庭の事情も聞きもしないで、成績でお金用意できるかなんてわからないと思います。

免除、減免の判定は家庭の所得を基準にされてりうようだが、支出の面も考慮してほしい。

利用できる人を増やして欲しい。

成績優秀者は授業料を免除するなどの措置をしてもらいたい

僕自身は、経済的な要素は覚悟して大学に入ったし、勉学に支障の出る範囲ではないですが、やはり減免制度の成績基準が大学の姿勢として不満です。過去 2 回、要望書公開回答に参加しましたが、現在の成績基準を設けている理由として「勉強しないでバイトしたり、そういう学生に利用されたくない、学生側も頑張してほしい」といった趣旨の回答をしていたように記憶しています。しかし、そうであるなら、「上位 3 分の 1」という程の優秀さを求めることはないと思います。「成績下位 3 分の 1 は利用できない」といった形で良いのでは?もちろん、優秀な学生のモチベーションを維持したいのもわかりますが、本来は経済的に厳しい学生に対する救済措置としての制度のはずだし、そこに関しては高等教育の担い手としての責任もあるはずなので、その機能はやはり一番重視してほしい。なので、大学として減免制度の適用枠を 2 種類設置することが望ましいと思います。

学力基準をもう少し下げてほしい

制度を受けるための条件は良くない

支給額の大きいものの募集ほど、遅くにあるので、早く申し込みすぎると成績が悪い人でも、成績の良い人よりも多い支給額を得る。こういう事態をなくすために募集時期を統一した方がいいと思う。

成績優秀者には適用してほしい。

成績はある程度仕方ないとしても、家計はもう少し考慮してほしい。所得審査が厳しいように思う。それこそ、他の兄弟にかかっている学費とか書く欄も申請書に設けて考慮してくれてもいいと思う。

審査の順 成績→経済的

兄弟がいると授業料減免。自分は 3 人兄弟で弟も来年から大学生となります。兄弟が多いと親の負担が大きくなるのでなんとかしてほしいです。

減免の条件がわかりにくい。減免の条件が厳しいと思います。→実際どれくらいの人が制度を利用できているのだろうか?

学科によって授業料減免のとれる、とれないに差がありすぎる。

経済と工が同じ状件なのはヒドイ

何故入試の成績が加味されるかが分からない。無くしてほしい。

何回か申し込みをしたが採用されなかった。採用条件が成績だけで判断することに関しては疑問に感じる。経済的な事情なども考慮してほしい。

バイトで勉強時間が削られるから、思う様に勉強できないため、いい成績がとれない。だから減免や奨学金を受給することができそうにない

成績の基準を数字で示してほしい

Ⅱ. 講義・履修に関すること

資料3 CAP 制に関する資料

○大阪府立大学履修規定(一部抜粋)

第7条(履修科目の受講申請の上限)

学生が、1年間に履修科目として受講申請することができる単位数は、前期25単位、後期25単位までとする。ただし、実験、実習及び演習並びに卒業の所要単位に算入しない科目を除く。

2 所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前項に規定する単位数の上限を超えて履修科目の受講申請を認めることができる。

第8条(単位算定基準)

授業科目の単位の算定は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次に掲げる基準により単位数を計算するものとする。ただし、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して学部規程で定めるところにより、単位を算定することができる。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

本学ホームページより転載

○国公立大学のCAP制

【大学名】	【CAP 制】
千葉大学	2年次以上の学生は申請をすれば上限を上げられる。 再履修科目がある場合、上限を8単位増やすことができる。
新潟大学	半期につき28単位。
山梨大学	共通教育科目のみに適用。GPAにより変動。
一橋大学	年間で50単位。
大阪府立大学	半期につき25単位。

このデータは、各大学がホームページで公開しているものである。
いずれの上限単位数も、資格科目・実験科目等は除くものである。

新潟大学の上限は、本学よりも高いため、より多くの科目を履修することができる。年間にすると6単位もの差になる。一橋大学のCAP制では、前期で曜日コマが重なった等の理由で履修できなかった科目を後期で履修することができるなど、本学よりも柔軟性がある。山梨大学では、必修科目の欠落を気にすることなく、一定の範囲内で各々好きな科目を履修できる。

また、ほとんどの大学はCAP制の上限を本学よりも厳しく設定していた。その反面、大阪大学をはじめとする上限を定めていない大学も複数存在する。

○CAP 制について

導入した理由	学生が受講した科目に対する勉強時間を十分に確保し、一つ一つの科目に対する理解度を向上させるため。
学生の声	CAP 制により定められた履修単位上限が必修科目・専門科目に圧迫され、他学科・他分野の科目を履修する余裕がなく、結果として学生が様々な知識を得る機械が減ってしまう。

○CAP 制の上限に対する進級要件・卒業要件の割合(学科ごと)

学部	学科	進級要件(単位数)	割合(%)
工学部	機械工学科	116	77.3
	航空宇宙工学科	116	77.3
	海洋システム工学科	114	76.0
	数理工学科	116	77.3
	電子物理工学科	116	77.3
	電気情報システム工学科	118	78.7
	知能情報工学科	118	78.7
	応用化学科	118	78.7
	化学工学科	120	80.0
	マテリアル工学科	114	76.0
生命環境科学部	生命機能化学科	116	77.3
	生物情報科学科	116	77.3
	植物バイオサイエンス学科	116	77.3
	緑地環境科学科	116	77.3
	獣医学科	110	73.3
理学部	情報数理科学科	100	66.7
	物理科学科	110	73.3
	分子科学科	110	73.3
	生物科学科	110	73.3
経済学部	経済学科	94	62.7
	経営学科	94	62.7
学部	学科	卒業要件(単位数)	割合(%)
人間社会学部	言語文化学科	124	62.0
	人間科学科	124	62.0
	社会福祉学科	124	62.0

各学部の履修要項より抜粋

※補足

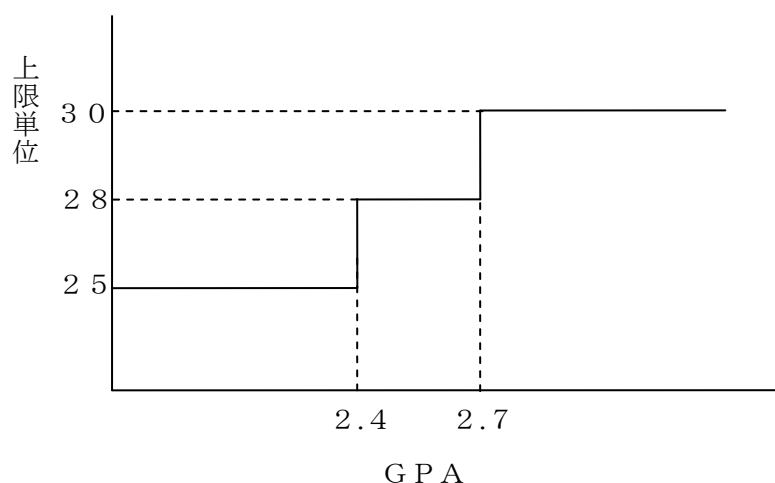
○進級要件とは、4年次に進級するために最低限必要な単位数である。

○人間社会学部については、進級要件が存在しないため、卒業要件を掲載した。

○割合は(進級要件)×100/150(3年間で通常、受講申請が可能な上限単位)

3年間で通常、受講申請可能な上限単位の合計に対する、進級要件・卒業要件の割合を各学部・学科ごとで比較した場合、理系学部・学科を中心に、進級要件・卒業要件以外で受講できる講義は少なくなっている。このことから、学生が幅広い学問に触れたくとも、触れられない現状がうかがえ、要望書にあるように本学が掲げる理念にそぐわないと思われる。

○学生自治会が提示する CAP 制モデル



○CAP 制に関する学生の意見

演習や実験が CAP 対象外である理由がまったくわかりません。このままでは、CAP が実質的には意味をなしていません。
好きなだけ取りたい。
25 単位までしかとれないのはおかしい。
CAP 制のシステムを廃止して上限を失くしてほしい
また、上回生の授業もとれるようにしてほしい
CAP 制不要。→前学期の成績と、関連させるより、必要なら、申請すれば通るようにした方が良い。
受けたい授業が十分に受けられないです。
上限 25 単位は少ない。卒業に必要な単位を早めに取り終え、各自で資格の勉強がしたい。
大学の授業のメリットは自分で選択することにあると思うため
他大学と比べ、授業数が少ない気がする。自分で勉強することも大事ではあるが、少なすぎるのもどうかと思う。
取りたい授業があっても制限されてはとりにくい。
私の学科のカリキュラムでは、一回生前期に CAP 対象外科目(実験等)を入れることで一週間 20 コマを受講できる一方で、二回生前期は専門必修科目が増えたためにその他の科目を【週 12 コマ】1 コマしか入れることができず、楽しみにしていた初修外国語中級も語学研修も行くことが出来なかった。しかし GPA は一回からずっと同じである。このような矛盾から、CAP 制度は廃止してほしい。十分な勉強時間の確保は学生個人に任せるべきだ。
CAP 制を導入している理由として十分な勉強時間の確保としているが、就活生が授業に追われることがないように単位数の上限を取り払っても良いと思う。
教職科目に CAP に引がかかるものがあるが、専門科目が多く開講される 3 年次からそれらを撮るのが難しい。CAP から外れる様にしてほしい。
上限 10 単位で十分。GPA がよくなれば上限と単位ずつ下がるのはどう？ちょうど 3 回後期で授業がなくなる
上限 25 単位は少ない。
勉強したい人はもっと取れるようにしてほしいと思います
もっと自由にしてほしい
理系は実験とかが CAP 制の対象外で、取れる（取らなあかん）授業数多いのに、文系はほぼ大半が引っかかって思うように授業をとれない。もっといろいろ学びたいのに。

資料4 一般教養科目の抽選結果

○共通教育科目の第4希望までの当選結果(2011年度後期)

第1希望当選・・・82.6%
第2希望当選・・・13.2%
第3希望当選・・・2.9%
第4希望当選・・・1.7%
(過去の結果もほぼ同様)

要望書説明会に先立つ質問での学生センターの回答

※補足

- 第1希望で当選した場合→第2・3・4希望で落選扱い。第2・3希望に当選した場合でも同様。
- 第1希望のみを希望した場合、第2・3・4希望を申請していないためこれらは落選扱いとはならない。
- 第3希望、第4希望まで記入しない学生もいるため、各希望における人数の母数が異なる。そのため、各希望の割合を合計しても100%にならない。

学生から改善を求める声が寄せられているにも関わらず、例年ほぼ同様の結果が得られているということは、改善が不十分であるためである。学域・学類制の学生に同様の結果がもたらされることの無いよう、「何度も落選する」、「第1希望が全く当選しない」などといった問題を改善すべきである。

○抽選制度に関する学生の意見

いくら人が多いからといって、やっぱりランダムで選ばれるのはいやだ。抽選落ちた後に、もう一度空いてる場所を選ばせてほしい。

一般教養で言語4つと一般教養の第1希望をはずし第6希望になったあげく、後期でも憲法を外した。はずれてさいあく！抽せんやめて

全て第1希望で通っている人がいる反面で、全て外している人がいる。公平ではあるが、多少配分すべき。

学びたいという学生には学びの機会を十分に与えるべき。

運によって受けたい授業を受けられないことがあるので良くないと思う。

受けたい授業があっても、何回もおちている。おちた人は次の時に優先的にうけれるなどしてほしい。

受けたくない内容の授業に当たる可能性がある

抽選制度で第1希望で通っている人がほとんどなのに一方で第4希望まで書いても全て外れる人もいる。システムを見直すべき。一般教の抽選全てはずれました。

僕は1回生のとき教養科目抽選に外れあまり興味のない科目を履修しました。

受けたい授業が受けれないとか授業料返せよ。あと教員免許取ろうとしたら七年かかるとかもう無理

抽選制度はある程度仕方がないが同じ授業を2つくらいにしてほしい。単位を取らなければならない、やむなく希望しない講義をとるのは苦しい。

抽選も取りたい授業がことごとくはずれるのでなんとかならないのかと思います。

修得済み科目が少ない人が優先的に当選するような制度はありましたっけ？抽選に漏れたから卒業の為に単位が不足した、と言う事態は無い方が良いでしょうね。

第一希望3つともはずれとかなかなかひどい。

前期はずれたら後期でちょっと優先されるか3つ中1個は希望通るかしてほしい。

とりたい授業がとれない

取りたい一般教が取れるか不明。

学費を払っているのだから学びたい一般教を抽選のために学べないのはおかしい。

資料5 構内の施設・設備の写真

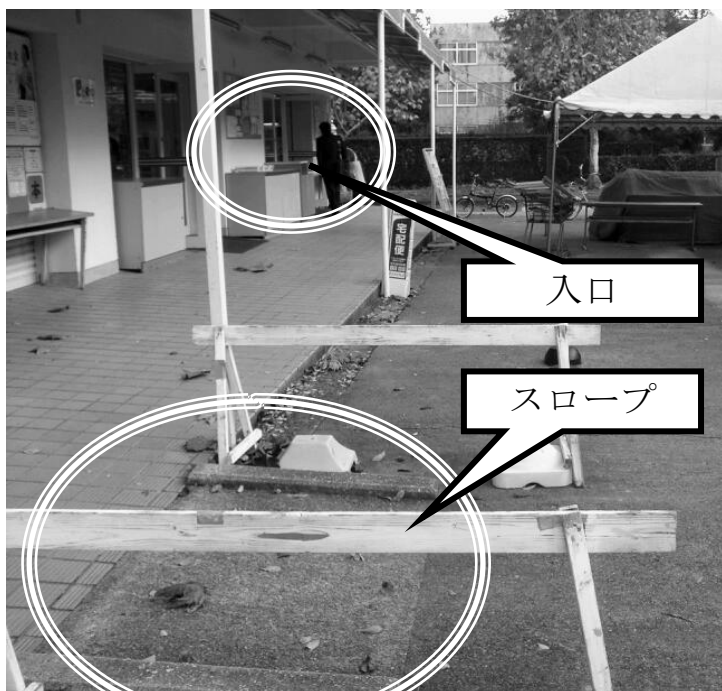
○B14 棟生活協同組合購買施設前の写真

場所：生協入り口付近

要望：スロープを生協の入り口付近にも作ってほしい。既存のスロープは出入り口付近にあるので、入口まで遠い。また、入口に向かうにつれて斜面が高くなっているので落ちそうになり危ない。車いすに乗っている友達からも、不便・危ないとの意見があるので、新しく入口付近にも作ってほしい。



机の傾きや、写真中央部のものからも傾いていることがわかる。



奥側の扉が入口で、手前の策に挟まれているものがスロープである。
既存のスロープからは少し遠い。

○B14 棟に関する学生の意見

スロープを生協の入り口付近にも作ってほしい。既存のスロープは出口付近にあるので、入口まで遠い。また、入口に向かうにつれて斜面が高くなっているので落ちそうになり危ない。車いすに乗っている友達からも、不便・危ないとの意見があるので、新しく入り口付近にも作ってほしい。

今あるスロープではなく新たに入り口付近にスロープを作ってほしいです。

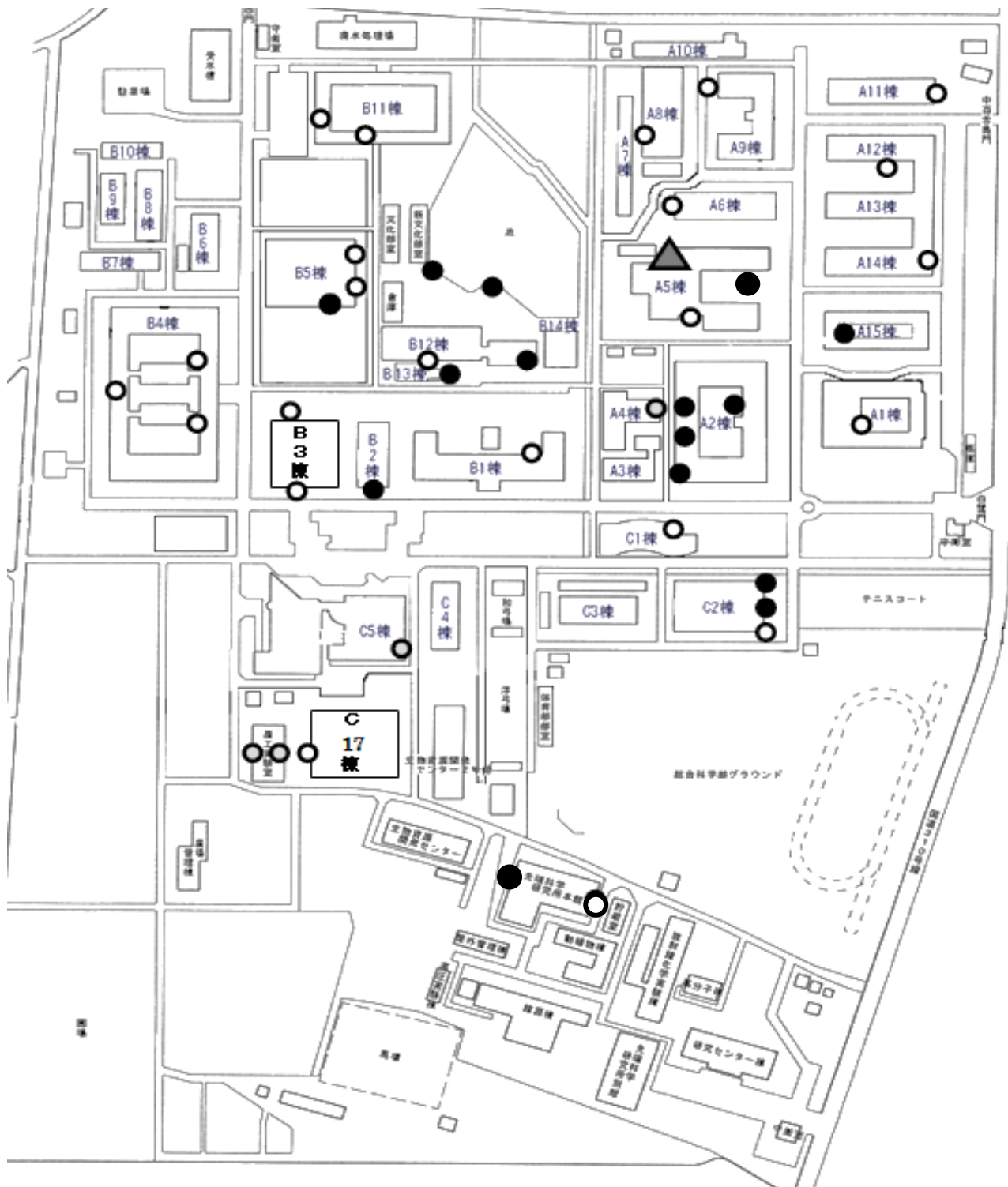
タバコ:禁煙なり分煙なりしてほしい。現在の喫煙所は出入り口付近にあって、嫌でも煙を吸うことになる。また、喫煙場所以外で吸う人もいるし、歩きたばこも見かける。とにかく、タバコが嫌いな人が不快にならないように心を砕いてほしい。

車イスの方と生協へ行くことがあります。ですが、スロープがはしのほうにしかなく、こんでいると、とても通りにくいです。なので、出来れば、入口の前にスロープが欲しいです。入りやすくしてください。

Ⅲ. 施設・設備・構内整備に関すること

資料6 構内の喫煙所

○2011 年 11 月の喫煙所分布



補足

前回(2009 年)の調査結果を基に調査した。

A2 棟は立ち入り禁止、B2 棟は改装工事のため確認できず。

A1 棟の中庭は全面禁煙となっていた。

B5 棟東の○については、写真 B 参照。

●は新たに確認できた場所

●は撤去された場所

○は 2009 年度と同様に設置されていた場所

▲については写真 A を参照

撤去された場所は 15 箇所、新たに確認できた場所は 4 箇所であった。また、以前と同様に設置されている場所は 23 箇所であった。設置数は、一昨年度から約 30%減少した。撤去された場所は、あまり使用されていない場所や、狭い範囲で複数存在している場所、もしくは来校者の目に付くところに設置されていた場所であった。また、多くの学生が使用していた喫煙所の跡には、喫煙所の代わりになるようなものが置かれていた。

このまま喫煙所が全て撤去されてしまうと、大学の全面禁煙が達成されるが、喫煙者はタバコを吸う場所を失ってしまい、路上喫煙を強いられることとなる。

写真 A 喫煙所らしきもの (A5)



写真 B 喫煙所らしきもの (B5)



○喫煙ルーム導入の実例

例 1 職場の喫煙ルーム



この会社では、これを設置した効果として、以下を上げていた。

- ① 喫煙者の副流煙で非喫煙者が悪影響を受けなくなった。
- ② 喫煙者はたばこの害を知る機会となり、禁煙に対する意識が高まった。
- ③ 安全衛生委員会、分煙化委員会の結束も強まり、良い方向に向かっている。
- ④ 禁煙タイムデーが出来、禁煙支援にもつながる。

日本産業衛生学会生涯教育委員会ウェブサイト「Good Practice Samples」より抜粋

例 2 通りでの喫煙ルーム



設置した効果

喫煙スペース設置前後のポイ捨て本数調査の結果、7割程度ポイ捨てが減少

J Tより抜粋

喫煙ルームを設置した所では、ポイ捨ての減少などの効果が得られている。そのため、喫煙者・非喫煙者双方に有益な効果が出ていることが確認できる。

○喫煙に関する学生の意見

構内で歩きタバコしてる奴いたら殴りたくなる。

なので、歩きタバコを無くしましょう

構内を全面禁煙にしろって人がけっこういるけど、構内全面禁煙はやりすぎだし、不可能だから、分煙ルームを設けてその中で喫ってもらったらい

タバコ:禁煙なり分煙なりしてほしい。現在の喫煙所は出入り口付近にあって、嫌でも煙を吸うことになる。また、喫煙場所以外で吸う人もいるし、歩きタバコも見かける。とにかく、タバコが嫌いな人が不快にならないように心を砕いてほしい。

大学内の歩きタバコが多い。分煙化か禁煙化を求めます。

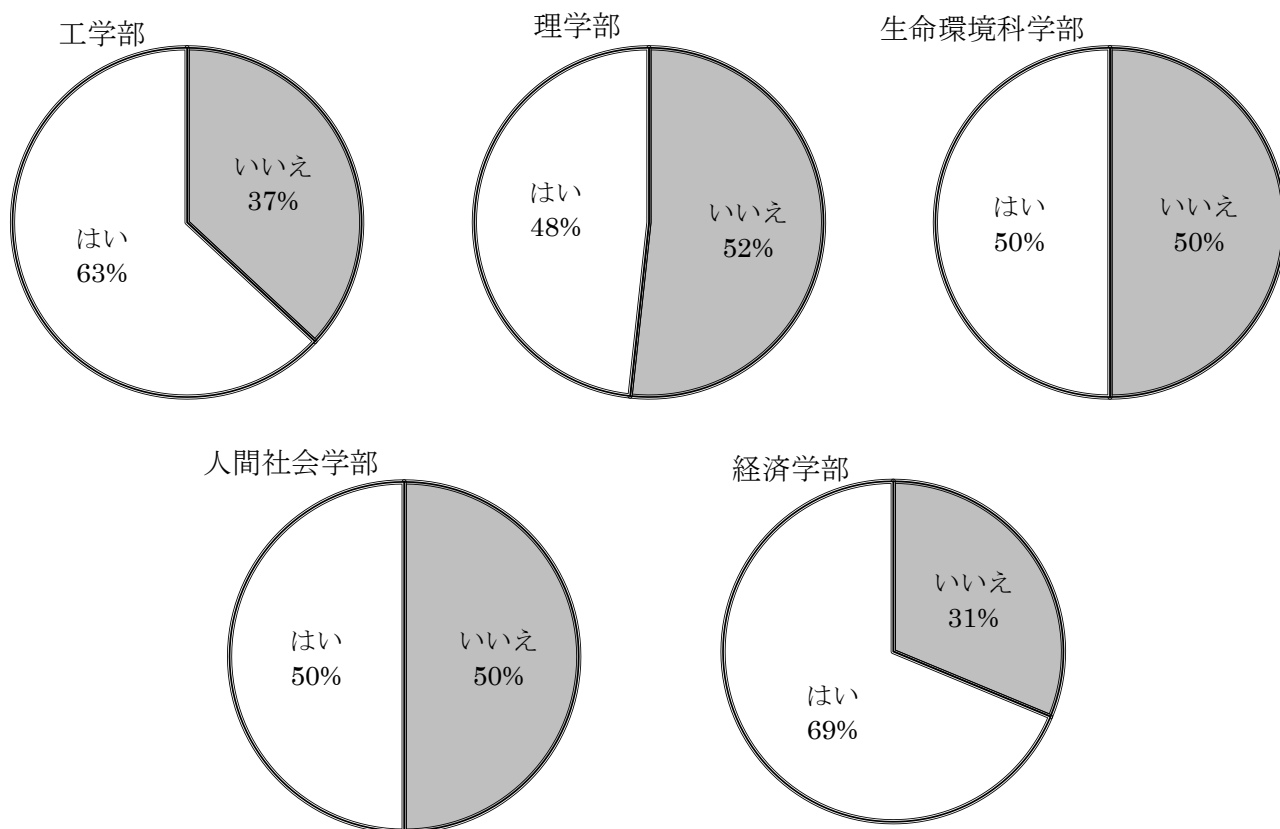
V. 研究室・ゼミナールの情報に関すること

資料7 研究室・ゼミナールに関する資料

○研究室・ゼミナールに関するアンケート結果(学部ごと)

質問内容：自分から調べて、得られた情報は十分であったか。

回答形式：「はい・いいえ」の2択より選択。



○各学部の回答数

学部 \ 回答	はい	いいえ
工学部	41	24
人間社会学部	6	6
理学部	14	15
経済学部	11	6
生命環境科学部	11	11

人間社会学部、理学部、生命環境科学部については、約半数の学生が情報量に満足している反面、ほぼ同数の学生が満足していなかった。工学部、経済学部については、約3分の2の学生が情報量に満足している反面、残りの約3分の1の学生が満足していなかった。

○学部ごとのホームページ比較

学部ごとに情報量の差が目立つ研究室を比較した。

●工学部(機械工)

研究室 A

研究概要
教員
在籍学生
連絡先・アクセス

研究室 B

研究概要・詳細・成果
教員
在籍・卒業学生
卒業学生の進路
行事
論文・著書・受賞歴
連絡先・アクセス

研究内容に関する情報に大きな偏りがあった。

一方は研究の概要のみで済ませているのに対して、もう一方は詳細な内容や成果、論文なども掲載していた。

●理学部(物理科学科)

研究室 A

研究概要
教員
論文
連絡先・アクセス

研究室 B

研究概要・詳細
実験装置
教員
在籍学生
行事
論文・著書
連絡先

研究内容に関して情報量の差が大きかった。また、研究室 B では、実験装置の紹介をするとともに、写真から実験室内の風景が伺えた。

●経済学部(経済学科)

研究室 A

教授の来歴
論文・報告書一覧
連絡先・アクセス

研究室 B

教授の担当科目・ゼミ
オフィスアワー
過去のレポート・卒論

載せてある情報の種類が全く異なっていた。研究室 A では教授に関する情報が、研究室 B では講義等に関する情報が載っていた。

●生命環境科学部(生命機能化学科)

研究室 A

研究概要
教員の研究内容
在籍学生
卒業学生の就職先
連絡先

研究室 B

研究テーマ一覧
論文
教員
在籍学生
連絡先・アクセス

生命環境科学部では、全体的に同じ程度の情報量であった。

●人間社会学部

→下記「補足」参照。

○研究室の学部別更新状況等

学部学科 \ 更新状況		1年以内	1年以上前	不明	存在しない	繋がらない
工学部	機械工学科	9	2	0	1	1
	航空宇宙工学科	3	4	1	1	1
	海洋システム工学科	4	2	1	4	0
	数理工学科	3	0	4	0	0
	電子物理工学科	3	3	1	0	0
	電気情報システム工学科	4	2	1	0	0
	知能情報工学科	5	2	0	0	1
	応用化学科	8	2	1	0	0
	化学工学科	1	4	2	0	0
	マテリアル工学科	6	1	0	2	0
生命環境科学部	生命機能化学科	6	2	0	0	0
	生物情報科学科	2	3	1	0	0
	植物バイオサイエンス学科	3	0	0	0	0
	緑地環境科学科	4	1	0	1	0
	獣医学科	10	6	1	0	1
理学部	情報数理科学科	13	7	0	5	1
	物理科学科	5	15	0	0	0
	分子科学科	14	4	0	0	0
	生物科学科	12	16	0	0	0
経済学部	経済学科	5	1	0	12	0
	経営学科	1	3	0	8	0

※補足

項目 { 1年以内：昨年11月より現在までに1度でも更新した。
1年以上前：昨年11月以前に更新した。
不明：いつ更新したか分からない。
存在しない：ホームページそのものが存在していない。
繋がらない：一部のブラウザで表示できない。

※人間社会学部の先生方は、大学のホームページに個人のホームページのリンクを張っていないため、探すことはできなかった。しかし、各研究グループについて学部のホームページに一様に詳しく載っていた。そのため人間社会学部については載せていない。

※このデータは、各研究室または研究グループを1単位とした調査の結果である。

ほとんどの研究室は今年度内に更新されていたが、一部の研究室では昨年度、あるいはそれ以前から更新されていない・繋がらないものがあった。また、ページが存在しない、もしくは公開していない研究室も存在した。

○研究室・ゼミナールの情報に不満を感じている学生の意見

研究室配属の成績の評価法などがよくわからない

研究室の情報が古かったりする。研究室選びで少し困る。

研究室の情報が散らばっていて、見比べていくのに困る。

開けないページがあった

内容にムラがある

1年以上更新のない研究室 HP がある

ゼミなど提供元により情報量が異なる。

研究室によっては写真をアップしてたり、してなかったりとしてないところは研究室の雰囲気がいまいち分らなかった。

教授によって研究室の内容がかなり少なかったり、情報がなかったりする。

情報数理工学ゼミナールⅠ・Ⅱともに、情報系のゼミが少なすぎる。そのせいでゼミをとりたくない学生もいた。

年間スケジュールなどがわかった方がよい。

シラバス読んだだけじゃどんなゼミとかかわりにくい。

府大全体の先生の研究活動の HP が更新中のまま表示できない。一刻も早く更新してほしい。

今回、専門ゼミとか決めるにあたって、シラバス？みたいななん配られたけど、情報量がまちまち。知らない先生で、情報量少ない先生とかマジ選びにくくて困った。先生個人の HP もビミョーやし。

行事やどのような研究をしているのか情報がほしい

全てにおいて情報が少ない。

学生ポータルが正常に動作しないことがままある。受講申請など

研究紹介がいまいち

研究室の HP がこうしんされていらないものがある。最新の研究内容が知れないため、高校時の志望校選択や研究室配属を決めるとき不便だった。

もう少し詳しい情報が欲しい。

教授がどんな研究をしているかについての詳細がわかりにくい。

勉強のモチベーションが下がった。

就職先などをもっときっちり（全て）書いてほしい

ホームページの更新がされていなかったり、ホームページが存在していないので研究室選びのときにウェブから情報が得られなかった。

何が何かわからない

そもそも情報にたどり着きにくい。もっとわかりやすく広報に努めてほしい

一部の先生の研究室の HP がなく研究室の選択の検討が困難だった。

研究内容があまりくわしくわからない。

なにもわからない

結構データ更新が無い

外部向けの情報が全然充実していないように思います。

内部向けはすごく充実してるんですけど、高校生とかに提供する分には不親切になって思います。

難しい専門用語が使ってあったりして分かりにくいし、いまいち研究室で何をしているのか分からない。

もっと研究室にいる学生の生の声をもりこんだら、少しでもイメージがわくと思う。

何年も前のもので、現在とは全く違う情報がたくさんありました。

せめて、1年に1度は更新してほしいです。

大学が提供している情報はほとんどないに等しいが、各先生が個人的に開いているホームページに詳しく書かれているので問題は無い。

主な進路や、就職先など、研究室をそれで選ぶわけではないが、この研究室に入ったら、将来こうなるのだなという計画をたてたいから。

3回生の前期に『研究室回り』を授業の一環としては?理学部は研究室が色々あって全部見て回れると良い経験になると思う。

研究室に入った際に具体的にどんな勉強をするのかを明確にしてほしいです。

事前にウェブサイトで情報を集めたりしてから教授の話を聞いたら、色々違っていて混乱した。私みたいに情報収集してから興味のあることをさらに調べる人間からすると、情報の遅さとか詳しさの違いは困る。

研究室で実際に何をやっているのかが全く不明だった。

4回生で研究室に入ったときの1日の大まかなタイムスケジュールや、年間予定などの情報が不足している。

あと、ホームページが全く更新されていないところもある。

各研究室がどのようなことをしているのかがイマイチわからない。